



第八卷第八號

香々

感化誘導

人を感化し誘導して不知不識の間に得るところあらしめ様とすることは人生の事業中最も困難なる仕事の一つであるが是と同時に最も高尚で最も美はしい仕事の一つも確かに此の事業である。人を教へて行かしめ教へて進め様とすることは不知不識の中に感化し誘導することよりは遙かに容易すいものである。

何故感化し誘導することが高尚であるかと云ふに其は人の感化され誘導されるものは如何なるものであるかを見れば容易に知ることが出来る。そこで子供の感化され誘導されるものは何であるかと云へば善であり美であり、眞理である。幼児として人間である。其内心的活動と云ふものは靈妙なるものがある。美なる所、善なる處に自然に感化せられ眞理なる所統一ある處には自然に誘導されるものである。従つて職に幼児教育に與れるものは健全なる常識(眞)あり其行動は道徳的(善)で其趣味(美)は稱す可き者がなければならぬ。而して是以上の三資格を備ふことは可なりな修養ある人、可なりな人格を要する譯であるから此事業に従事する人は一般に世の淑女と稱せられるものでなければならぬ。つまり人を感化し誘導することは社会上最も高尚なる職業であり、教育界中にありても比較的高尚な職業であると云はねばならぬ。